



Save you, Save others.

ENISHIA

医師文書AIサービス

Regional Collaboration for all

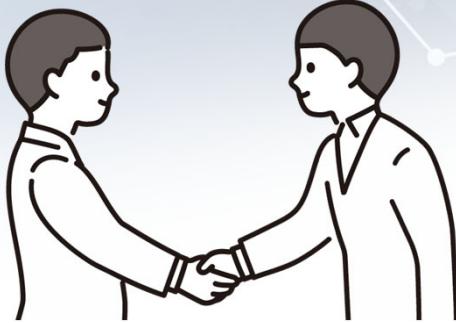
みんなの地域連携室®



AI技術で文書生成を効率化し、 患者さんからも、地域の医療機関からも信頼される 病院運営を実現します



診療時間の増加



紹介先との連携強化

『みんなの地域連携室®』は、独自のAI技術により高精度な医師文書を生成することで、診療に集中できる時間を増やし、また紹介先とのスマートな連携を可能にします。

『みんなの地域連携室®』とは？

電子カルテのデータをもとに、医師文書を生成するサービスです

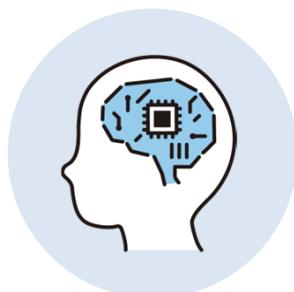


医師

電子カルテデータをアップロード



文書案を生成



みんなの地域連携室®

患者さまの電子カルテデータをアップロードしていただくと、『みんなの地域連携室®』が文書案を生成いたします。カルテデータから必要な診療情報を的確にピックアップし、正確に記載するため、診療経緯をひとつひとつ見返す手間を省くことができます。

現状の課題



先生

- カルテを一つ一つ追うのが面倒
- 診療に時間がかけられない
- 異動のときに患者サマリを残せず
引き継ぎが出来ない



事務

- 先生が退院時サマリを期日までに
書いてくれない
- 連携先から「紹介状が不適切」と
クレームが入る

みんなの地域連携室®を通じて、紹介状・退院時サマリ案を生成

文書作成時間削減



文書作成にかかる時間を
大幅に減らすことができます

文書の品質向上



常に高品質な文書を
用意できるようになります

医師負担
軽減

診察時間
増加

地域連携
強化

紹介率の
向上

診察できる時間が増えることや、紹介率が向上することにより、
医業収益が向上し、病院の経営にも貢献します。

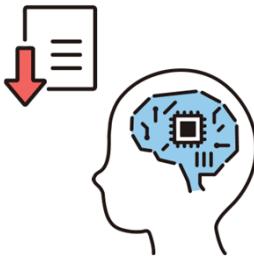
特長
1

文書生成特許取得！文書作成を劇的に効率化し 患者様と向き合う時間を創出します

紹介状や退院サマリといった医療文書が医師の負担となっている課題を解決するため、京都大学発スタートアップとして最新のAI技術を活用した医師文書生成サービスを開発し、その独自性から特許を取得しました。この技術は、近年注目を集める生成AIや大規模言語モデル（LLM）の根幹技術を活用し、電子カルテなどに記載された膨大な診療記録から、要点を的確に捉えた質の高い文書のドラフトを自動生成するものです。

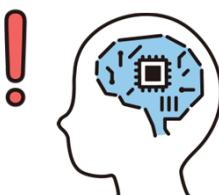
当社の生成AI特許技術が文書生成を実現する仕組み

1. AIがベテラン医師の判断を学習し、文章の重要度を判断します



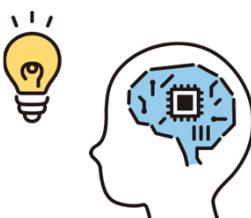
ニューラルネットワーク（AIの脳にあたる仕組み）を用いて、診療記録の文章と、医師が作成した模範となる要約文を大量に学習させています。これにより、AIはどの情報が要約にとって重要なかを判断する「要点」を身に付けます。そのため、診断名、重要な検査結果、治療の経緯といったキーポイントを的確に抽出できます。

2. 単語を「意味」のベクトルで捉え、文脈を深く理解します



文章を構成する単語や要素を「分散表現」という手法で数値ベクトルに変換します。これにより、AIは単なる文字列としてではなく、文脈に応じた「意味」として文章を理解し、より人間が作成したような自然な文章を生成します。

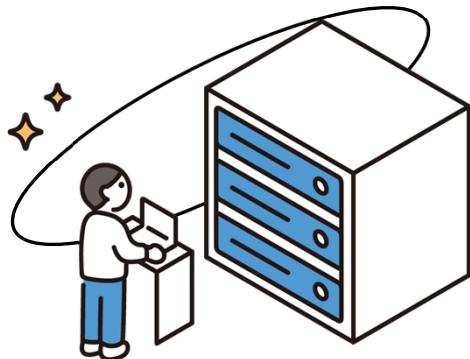
3. 医師の修正を学習し、使うほどに賢くパーソナライズ



AIが生成した要約文に対し、医師が加えた修正内容をシステムが理解し、次回の要約生成に活かす仕組みも特許に含まれています。これにより、システムは各医師や診療科の文書スタイルに最適化されていき、使うほど手直しの少ない、精度の高い文書を生成するよう進化します。

特長
2

お使いの電子カルテメーカーの種類を問わず、 自動で連携が可能です



導入に必要なことは、たったの2点！

- ① 電子カルテを利用されていること
- ② ネットワークをご相談できること

導入サポートもしっかり対応します。

今後のサービス拡張

1. 連携先医療機関との関係性を高めます

連携先医療機関との医師文書のやり取りは、高度なセキュリティ環境を必要とします。それゆえ手紙やFAXでやり取りするのが主となり、手間がかかるっています。『みんなの地域連携室®』上でデータでの送付を可能にすることで、**タイムリーな情報共有を実現しつつ、印刷・郵送・送信の手間とコストを削減します。**



2. 対象文書の種類を拡大します

『みんなの地域連携室®』は、今後、診療録や看護サマリーなど幅広い院内文書に対応します。医師の働き方改革を進めつつ、さらに看護師や薬剤師などのコメディカルや医療事務など**医療従事者全般の働き方改革に貢献し、貴院の経営を支えます。**

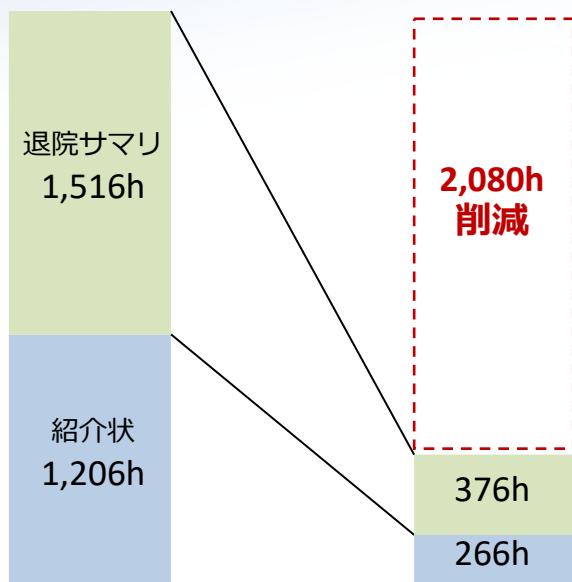


『みんなの地域連携室®』で 先生方の文書作成を強力にサポートします

『みんなの地域連携室®』は、京都大学との共同研究によるβ版の実証結果により、文書作成の所要時間が大幅に削減できることが示されました。

従来、28分かけていた紹介状の作成が、サービスの利用により6分で完成し、**約78%の時間削減を実現しています。**

200床規模の病院における年間の想定効果



医師の時給を1万円とすると

約2,000万円のコスト削減

医師収益を5万円とすると

約1億円の医業収益向上

※ 退院時サマリ20.1分 ⇒ 4.422分、紹介状16.25分 ⇒ 3.575分 78%削減（診療所での実測時短割合）で試算
※ β版での実証実験効果より

ご利用者さまの声



脳神経内科医・医師

実際にサービスを利用すると、電子カルテの日付を一つ一つ追う大変な作業がなくなりました。負担がぐっと軽くなっていて、**特に経過が長い患者様でとても有効です。**

よくあるご質問

Q 患者さんのカルテデータをアップロードするのに、セキュリティ面で問題はないですか。

問題ありません。医療機関様のセキュリティポリシーにあわせて、3省2ガイドラインに準拠したセキュアな環境を構築します。

Q 連携できない電子カルテの例を教えてください。

『みんなの地域連携室®』は、電子カルテの機種を問わず連動可能です。

Q サービスの仕組みを教えてください。

PDF等で出力された電子カルテデータをアップロードすると、AIが文書内容を解析し、必要な要素（診断名、処方、経過など）を抽出。これに基づいて退院サマリーや紹介状の案を自動で生成します。

Q 毎回、似たような修正を加えなければなりませんか。

ユーザーが加えた修正内容は次回の要約生成に活かされます。そのため、使えば使うほど手直しの少ない、精度の高いドラフトを生成するよう進化していきます。

Q カルテデータをアップロードしてから案が生成されるまでに、どのくらい時間がかかりますか。

数分程度です。外来診療中のケースでは、次の患者様を診ている間に完成して試用されています。

Q 『みんなの地域連携室®』は、どんな文書を作ることができますか。

診療情報提供書（紹介状）と退院サマリーに対応しています。対象文書は順次拡大します。

Q 契約前にシステムを試すことはできますか。

ご相談の上、一定のご試用期間をご用意可能です。



本文書に記載されている会社名、製品名、およびロゴは、エニシア株式会社の登録商標です。

なお、本文中では「®」を明記していない場合があります。

外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

エニシア株式会社

<https://enishia-inc.co.jp/>

〒606-8501

京都府京都市左京区吉田本町36-1
京都大学国際科学イノベーション棟

お問い合わせフォーム



医師文書AIサービス『みんなの地域連携室』お問合せ窓口 biz@enishia-inc.co.jp